



令和5年度 京都府教育委員会事務局職員（文化財保護技師） 採用選考試験実施要項

京都府人事委員会
京都府教育委員会

京都府教育委員会事務局職員（文化財保護技師）採用選考試験を次のとおり行います。

求める人材像

- ・文化財の適切な保存・活用を図るために、積極的に人との交流を深め、協働を図ることができる優れたコミュニケーション能力、既存の枠組みにとらわれない創造力や発想力などを有し、それを業務に活かすことができる方
- ・文化財に関する必要な専門知識があり、文化財の保護・活用、普及・啓発事業などを積極的に取り組もうとする意欲のある方

1 試験区分・採用予定人員・勤務先・受験資格等

試験区分	(A) 文化財保護技師 (歴史・美術工芸品等)	(B) 文化財保護技師 (埋蔵文化財等)
採用予定人員	若干名	若干名
採用時の勤務先	京都府教育庁指導部文化財保護課又は京都府立郷土資料館	
職務内容	府内における文化財（歴史・美術工芸品等）の調査、保存、展示等	府内における文化財（埋蔵文化財等）の調査、保存、展示等
受験資格	昭和52年4月2日以降に生まれた方で、次のいずれにも該当する方 ①学校教育法に基づく大学（大学院を含み、短期大学を除く。）において、歴史学、美術史学その他これらに類する学科等の課程を卒業（修了）した方若しくは令和5年9月末までに卒業（修了）する見込みの方又はこれらと同等以上の学力を有する方 ②博物館法に規定する学芸員となる資格を有する方（令和5年9月末までに取得見込みの方を含む。）	昭和53年4月2日以降に生まれた方で、次のいずれにも該当する方 ①学校教育法に基づく大学（大学院を含み、短期大学を除く。）において、歴史学、考古学その他これらに類する学科等の課程を卒業（修了）した方若しくは令和6年3月末までに卒業（修了）する見込みの方又はこれらと同等以上の学力を有する方 ②博物館法に規定する学芸員となる資格を有する方（令和6年3月末までに取得見込みの方を含む。）

- ※ 試験区分（Ａ）（Ｂ）のいずれか一つの受験しかできません。
- ※ 地方公務員法第１６条各号のいずれかに該当する方は、受験できません。
- ※ 日本国籍を有しない方も受験できます。
ただし、在留活動に制限のない在留の資格を有する方に限ります。
- ※ 前記の資格を取得見込みでこの試験に合格した方が所定の期日までに取得できなかった場合は、採用されません。

２ 採用予定日

- （Ａ）歴史・美術工芸品等 令和５年１０月１日
- （Ｂ）埋蔵文化財等 令和６年４月１日

３ 選考試験

次の方法により行います。

（１）日時・場所及び合格発表

試験	試験日時	試験方法	試験会場	合格発表
第一次	令和５年７月１５日（土） 午前９時３０分集合 （受付：９時１０分から）	教養試験 専門試験 論文試験	京都府庁３号館 地下１階 講堂	７月２８日（金） 合格者に通知します。
第二次	令和５年８月１０日（木） （詳細は、別途第一次試験 合格者に通知します。）	適性検査 口述試験	別途第一次試験合格者に 通知します。	９月上旬 最終合格者に通知します。

（２）試験方法

試験	方法	内容
第一次	教養試験	公務員として必要な一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	文化財保護技師に必要な専門知識、能力、技術等について、筆記試験を行います。
	論文試験	文章による表現力、課題に対する理解力等について、筆記試験を行います。
第二次	適性検査	職務の遂行に必要な適性について検査します。
	口述試験	主として、人物・能力について、個別面接による口述試験を行います。

<出題分野>

教養試験	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈	
専門試験	（Ａ）歴史・美術工芸品等	歴史学、美術史学、文化財学等
	（Ｂ）埋蔵文化財等	歴史学、考古学、文化財学等

4 給 与 等

初任給は、大学卒業者が卒業後すぐに京都市内で勤務する場合は約212,400円、修士課程修了者が修了後すぐに京都市内で勤務する場合は約226,200円です。（令和5年4月1日実績）

- ・職歴がある場合などは、一定の基準により加算されます。
- ・そのほか、扶養手当、住居手当、通勤手当等が要件に応じて支給されます。（単身赴任手当は、人事異動による転勤に伴って支給される手当であるため、採用時の配置により配偶者と別居して単身で居住することとなった場合においては、支給されません。）
- ・ボーナスは年2回（6月・12月）で、合計4.40月分（令和4年度実績）です。

5 応募手続及び申込受付期間

申 込 書 請求方法	京都府人事委員会又は京都府教育委員会のホームページに掲載していますのでダウンロードして印刷してください。 （人事委員会ホームページアドレス https://www.pref.kyoto.jp/recruit/news/senko.html） （教育委員会ホームページアドレス https://www.kyoto-be.ne.jp/soumu/cms/） ホームページからダウンロードできない場合は、封筒の表に「選考試験（文化財保護技師）申込用紙請求」と朱書きして、<u>84円分の切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（定形長形3号－12×23.5cm程度）を同封し、以下のあて先に送付してください。</u> また、直接取りに来ることも可能です。（土曜日及び日曜日を除く、午前9時から午後5時まで） 京都府教育庁指導部文化財保護課企画調整係 [電話] 京都府庁内（075）414－5896 [所在地] 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町（京都府庁3号館5階）
申込方法	申込書及び整理カードに必要事項を記入し、本人の写真（整理カードの注意を厳守のこと）を貼り、次の書類各1部を添えて提出してください。 （④、⑤、⑥については、経歴のある場合、任意の用紙によりできるだけパソコン等で印字して提出してください。） 申込書を郵送する場合は、封筒の表に「選考試験受験（文化財保護技師）」と<u>朱書き</u>して、必ず簡易書留郵便にしてください。 なお、申込書等は一切返却いたしません。 ①最終学校卒業（見込）証明書 大学院修了（見込）の場合は、大学の卒業証明書及び大学院の修了（見込）証明書を添付してください。 ②最終学校成績証明書（全学年記入のもの） 大学院修了（見込）の場合は、大学及び大学院の成績証明書を添付してください。 ③学芸員資格証明書（写）（既に資格を有する方のみ） ④執筆歴（論文、報告書、図録等） ⑤文化財の展示・公開歴 ⑥発掘調査の担当・報告書の編集歴（（B）埋蔵文化財等に申し込む方のみ）
申 込 先	京都府教育庁指導部文化財保護課企画調整係（持参可） 〒602-8570（京都府庁専用郵便番号、住所の記入は不要です。）
受付期間	令和5年6月5日（月）～令和5年6月30日（金） 午前9時～午後5時 （土曜日及び日曜日を除く。） <u>郵送の場合は、締切日（令和5年6月30日（金））までの消印があるものに限り受け付けます。</u> <u>持参の場合は、締切日（令和5年6月30日（金）午後5時）までに到着したものに限り受け付けます。</u>

6 応募についての注意事項

応募書類に不備がある場合を除き特に連絡しませんので、試験当日は、次のものを携行し、受付時間内に試験会場に集合してください。※受験票の送付はありません。

- ・筆記用具（鉛筆（HB数本）又はシャープペンシル、消しゴム及びペン又はボールペン）
- ・時計（各試験中は、携帯電話を時計代わりに使用することができません。）
- ・昼食

なお、駐車場は確保していませんので、車の乗入れは御遠慮ください。

7 選考試験の日程

《第一次試験》令和5年7月15日（土）

試 験 等	時 間
受 付	9：10～ 9：30
教 養 試 験	9：45～11：45
休 憩	11：45～12：35
専 門 試 験	12：45～13：45
論 文 試 験	14：00～14：50

《第二次試験》令和5年8月10日（木）

8 応募についての問合せ先

京都府教育庁指導部文化財保護課企画調整係

〔電話〕 京都府庁内（075）414－5896

〔所在地〕 〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

○選考試験結果の提供について

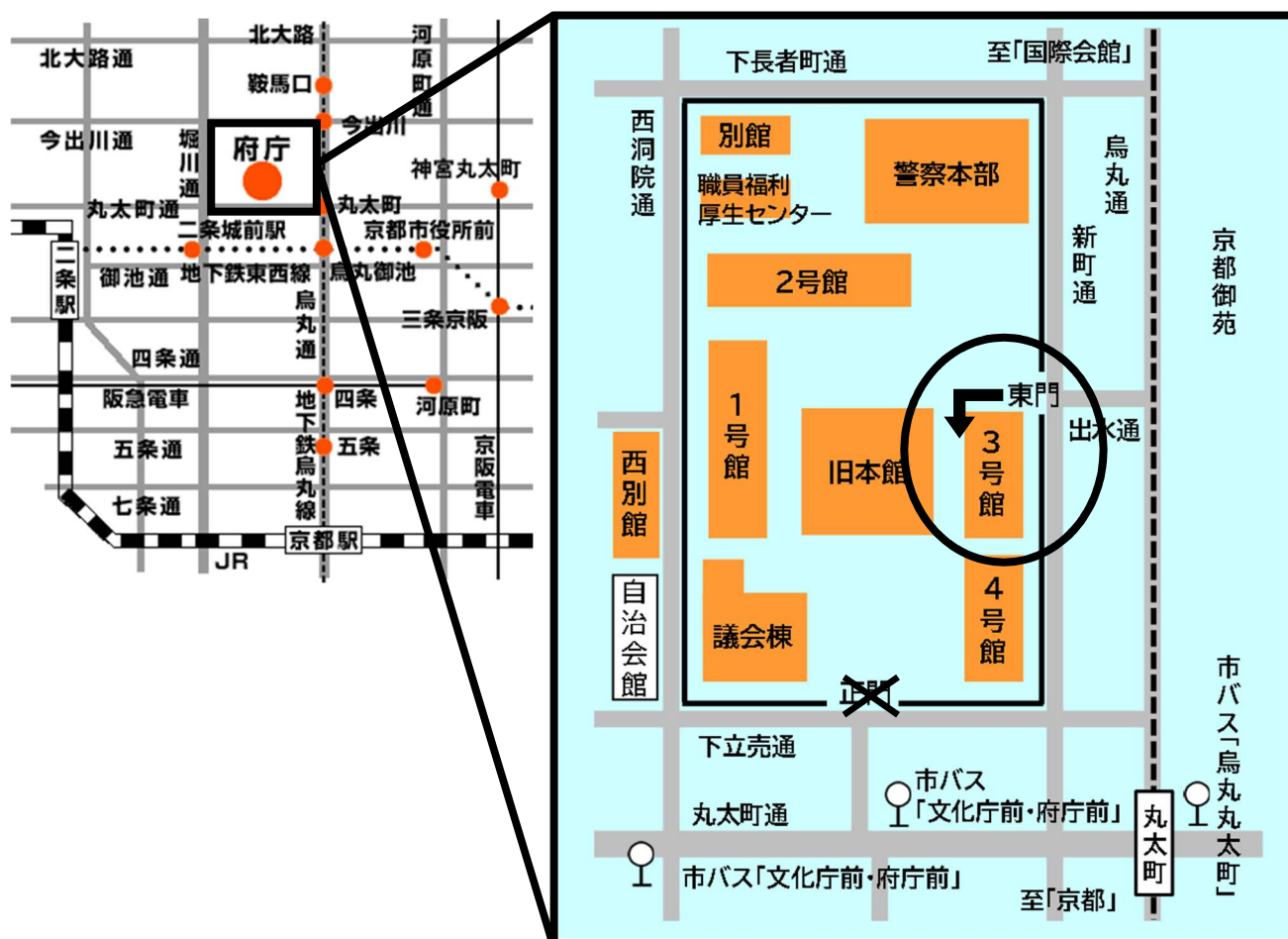
この選考試験結果については、個人情報の保護に関する法律施行細則第22条第1項の規定により、下記の期間に限り口頭で提供を求めることができます。

なお、電話、はがき等による求めに対しては提供できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（学生証、運転免許証等）を持参の上、直接京都府教育庁管理部総務企画課職員総務係（京都府庁3号館6階）に来てください。

試 験	対 象 者	提 供 内 容	提供期間等
第一次試験	第一次試験の不合格者	総合ランク	それぞれの合格発表の日から起算して1箇月間 土曜日、日曜日及び祝日を除く、午前8時30分（開示期間の初日は午後4時）から午後5時15分まで
第二次試験	第二次試験の受験者全員	総合ランク	

第一次試験会場案内図

試験会場 京都府庁 3号館地下1階 講堂



休日につき府庁正門が閉まっていますので、東門を通り、3号館北側入口（教育庁エリア入口）からお入りください。3号館南側入口（文化庁エリア入口）からはお入りいただけません。

なお、駐車場はありませんので、車の乗り入れは御遠慮ください。

【交通機関】

○地下鉄	J R 京都駅より烏丸線「丸太町」下車	} 徒歩約10分
	J R 二条駅より東西線「烏丸御池」→烏丸線「丸太町」下車	
○市バス	三条京阪駅より10号系統「文化庁前・府庁前」下車	} 徒歩約5分
	J R 円町駅又は京阪神宮丸太町駅より93・202・204号系統「文化庁前・府庁前」下車	

令和5年度
京都府教育委員会事務局職員(文化財保護技師)採用選考試験申込書

※受付番号

(注)記入要領をよく読んで記入してください。

(ふりがな) 氏 名		生年月日・性別 昭和 年 月 日生 性別 () ※任意		試験区分 (A) 歴史・美術工芸品等 (B) 埋蔵文化財等 ※いずれか一つを○で囲むこと
現住所 〒 — 自宅電話： 携帯電話：				
上記以外の連絡場所 〒 — 電話：				
学 歴		学 校 名 (高校以降)		在 学 期 間
最 終				年 月～ 年 月
その前				年 月～ 年 月
その前				年 月～ 年 月
その前				年 月～ 年 月
職 歴		有 ・ 無 ※有の場合は別紙職務経歴書を作成すること		
資格・免許				
私は、京都府教育委員会事務局職員（文化財保護技師）採用選考試験を上記により受験したので申し込みます。 なお、私は、この試験に必要な受験資格をすべて満たしております。 また、この申込書のすべての記載事項に相違はありません。 年 月 日 本人署名				※受付年月日

整理カード

(ふりがな) 氏 名	※受験番号
---------------	-------

(写 真 欄)

(1) 写真は申し込み前6か月以内に脱帽上半身・正面向きを撮った縦4cm、横3cmのもので本人と確認できるものを貼ってください。

(2) 写真のない方は受付できません。

※出欠	教養 出・欠	専門 出・欠	論文 出・欠
-----	-----------	-----------	-----------

記 入 要 領

- 1 記入事項に不正があると、職員として採用される資格を失うことがあります。
- 2 ※印以外の欄はもれなく記入してください。
- 3 記入はすべてペン又はボールペンを用い、かい書で丁寧に書いてください。数字は算用数字を用いてください。
- 4 学歴の学校名は、大学については学部名、学科名、コース名まで、高校については学科名まで記入してください。
- 5 地方公務員法第 16 条各号のいずれかに該当する方は、受験できません。
 - ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・ 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
 - ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した者
- 6 申込書と整理カードは切り離さないでください。

職 務 経 歴 書

※受付番号

氏 名	試験区分 (A) 歴史・美術工芸品等 (B) 埋蔵文化財等 ※いずれか一つを○で囲むこと	
勤 務 先 名	在 職 期 間	勤 務 内 容
最 終(現 在)	年 月～ 年 月	
その前	年 月～ 年 月	
その前	年 月～ 年 月	
その前	年 月～ 年 月	
その前	年 月～ 年 月	

沖芸大第 110 号

令和 5 年 6 月 6 日

各関係大学長
各関係機関長 殿
各団体長

公立大学法人沖縄県立芸術大学
学長 波多野 泉
(公 印 省 略)

教員公募について（依頼）

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、本学では下記要領により教員を公募いたします。つきましては、
各関係各位、機関にご周知方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 職名・人員 准教授または講師 1 名
- 2 所属専攻 音楽学部音楽学科音楽表現専攻
- 3 専門分野 木管楽器（フルート、オーボエ、ファゴット、サクソフォーンのいずれか）
- 4 担当予定科目 音楽学部：
管打楽実技Ⅰ～Ⅷ、管打合奏Ⅰ～Ⅳ、
オーケストラⅠ～Ⅷ又は管楽器オーケストラスタディーⅠ～Ⅷ、
室内楽Ⅰ～Ⅲ、オーケストラ実習Ⅰ～Ⅳ、器楽合奏Ⅰ・Ⅱ、
副科実技Ⅰ～Ⅳ
大学院修士課程音楽芸術研究科：
管弦打楽研究Ⅰ・Ⅱ、オーケストラ研究Ⅰ・Ⅱ、協奏曲研究、
室内楽実習Ⅰ・Ⅱ

- 5 応募資格 次の各号を満たす者
- (1) 修士以上の学位を有する者、もしくはそれと同等の教育研究上の業績または能力を有する者
 - (2) 上記の科目を担当できる者
 - (3) 採用後は通勤可能な沖縄県内に居住できる者
- 6 採用予定日 令和6年(2024年)4月1日
- 7 提出書類 (1) 履歴書(第1号様式。E-mail アドレスなど確実に連絡の取ることのできる方法を明記すること。)
- (2) 研究芸術活動業績書(第2号様式)
- (3) 教育校務活動業績書(第3号様式)
- (4) 社会活動業績書(第4号様式)
- (5) 自薦書(第5号様式)
- (6) 主要な研究業績についての資料(CD、DVD、演奏会プログラム、批評、著書、論文の写し等。ただし、過去5年以内の音源を必ず含むこと。)3点以上5点以内
- ※上記所定様式(第1～5号様式)については、本学ホームページからダウンロードして使用すること。
- (沖縄県立芸術大学ホームページ:「教員採用情報」
<http://www.okigei.ac.jp/employment/employment-index.html>
教員の新規採用にかかる提出書類の様式(履歴書等)『教員用』)
- ※提出書類は原則として返却しない。返却希望の場合は返送先を記入し送料分の切手を添付した封筒等を同封すること。
- ※すべての資料に必ず氏名を記入すること
- 8 提出期限 令和5年(2023年)8月18日(金)必着
- 9 選考方法 第一次審査:書類選考
- 第二次審査:面接(演奏審査及び模擬授業を必要に応じて実施する)
- ※9月下旬～10月上旬を予定している
- ※選考に係る旅費等の経費は応募者の負担とする
- 10 選考結果 採否は令和5年12月末日をめどに本人宛てに通知する。

- 11 待遇 給与・手当等は、公立大学法人沖縄県立芸術大学職員給与規定による。
保険・年金は公立学校共済組合に加入。
- 12 応募書類の提出先 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学 教務学生課 宛て
(郵便書留とし、封筒に「音楽表現専攻管打楽教員応募書類在中」と朱書きのこと)
- 13 問合せ先 沖縄県立芸術大学 事務局 教務学生課 (担当：幸地)
FAX 098-882-5033 メールアドレス general@okigei.ac.jp
- 14 備考 (1) 本学の建学の理念を理解し、教育・研究及び大学運営に積極的に関わ
れる人材であること。
(2) 大学院芸術文化学研究科(後期博士課程)を兼任することがある。
(3) 担当科目の授業では、PCなどを十分に活用できること、またオンライン
授業にも対応できること。
(4) 論文等の業績を有することが望ましい。
(5) ソルフエージュ科目を担当することがある。
(6) 本学は、女性研究者等の積極的な応募を歓迎する。本公募では、男女
雇用機会均等法第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)に基づ
き、業績及び人物評価等の審査結果が同等と認められる場合には、女
性を優先して採用する。

履歴書及び業績書の記入要領（教授、准教授及び講師）

沖縄県立芸術大学の人事選考に際し、ご提出願う書類は以下の通りです。

1. 履歴書（第1号様式）
 2. 研究芸術活動業績書（第2号様式）
 3. 教育校務活動業績書（第3号様式）
 4. 社会活動業績書（第4号様式）
 5. 自薦書（採用後の本学における教育、研究活動について）（第5号様式）
- 特に指定された場合を除き、すべての書類を提出願います。

記入の要領は以下の通りです。

1. 履歴書（第1号様式）

- * 生年月日の欄はすべて西暦で記入し、年齢は採用予定日現在のものとする。
- * 学歴は高校以降の卒業・修了・中退の年月を記入する。ただし学校名のほか、課程、学部、学科、専攻等の名称も記入する。
- * 職歴は就職年月、機関・職位を記入し、（ ）内に離職年月を記入する。
- * 学位は取得年月日、機関、論文題目を記入する。
- * 称号、資格は授与された年月日、授与機関、授与理由を記入する。
- * 賞罰は公的なもの（国や都道府県庁などからの表彰等）のみ記入する。

2. 研究芸術活動業績書（第2号様式）

【研究芸術活動歴】

- * 現在までの研究活動または芸術活動の軌跡と成果を総括して自由に記述する。例えば、所属した研究機関及び研究テーマ、展覧会・演奏会の企画・制作、留学・研修の期間と機関、プロジェクトへの参加、研究・芸術活動助成金の獲得等

【研究芸術活動の業績目録Ⅰ（主要な業績）】

- * 当該目録には、主要な業績10件以内について、1頁以内にまとめ簡潔に記載すること。また、過去10年以内の業績を1件以上含めること。
- * 著書・研究論文に相当する学術研究の業績、個展・リサイタル等に相当する芸術活動、作品発表、各種展覧会・コンクールへの入選、展覧会・演奏会の企画（アートマネジメント）等の業績を記入する。
- * 題目等の欄には、書名、論文名、作品名、個展・各種展覧会・リサイタル・コンクール等のタイトルを記入する。
- * 発表年月の欄には、著書及び論文掲載雑誌の刊行年月、展覧会・演奏会等の開催年月を記入する。
- * 発行所・発表雑誌・発表の場等の欄には、出版社、論文掲載雑誌名、展覧会・演奏会等の会場を記入する。

＊備考の欄には、共著などの形態、展覧会・演奏会（個展、リサイタル等を除く）における役割、賞位等を記入する。

【研究芸術活動の業績目録Ⅱ（その他の業績）】

＊当該目録には、【研究芸術活動の業績目録Ⅰ】に準ずる業績を記入すること。件数に制限はないが、記入方法は【研究芸術活動の業績目録Ⅰ】に倣うこと。なお、この書類の提出は省略しても差し支えない。

3. 教育校務活動業績書（第3号様式）

＊主な担当授業とその内容には、大学名の欄に授業を行った大学その他の教育機関の名称、概要の欄にその内容を簡潔に記入する。

＊教育活動の成果には、学生指導（卒業論文、修士論文の指導、博士論文の審査及びそれに相当するもの）の成果、人材育成の成果（学生の就職等）、指導学生の受賞等を記入する。

＊大学・学部等の役職には、大学及び研究機関における校務等（委員会の委員を含む）を、期間、役職名（括弧内に機関）によって記入する。

4. 社会活動業績書（第4号様式）

＊所属学会及び役職、招待講演等、審査員、審議会等の委員、大学及び研究機関以外での専門領域に係る業績または社会活動について記入する。

5. 自薦書（採用後の本学における教育、研究活動について）（第5号様式）

＊本学に採用後、本学において教育、研究へどのように取り組むつもりであるか、自由に記入する。

第1号様式

履 歴 書

(年 月 日現在)

フリガナ 氏 名		男・女	現住所 〒
生年月日 (年齢)		歳	Tel: E-mail:

学歴

年 月	事 項
年 月	

職歴

年 月	事 項
年 月	

学位・称号・資格

名称	授与年月日	授与機関	論文題目又は授与理由

賞罰

年 月	事 項

第2号様式

研 究 芸 術 活 動 業 績 書
(氏名)

研究芸術活動歴
総括的に記入して下さい。

研究芸術活動の業績目録 I（主要な業績）

主要な業績 10 件以内について記入して下さい。

(氏名)

題 目 等	発表年月	発行所・発表雑誌・発表の場等	備 考

研究芸術活動の業績目録 II（その他業績）

前頁「研究芸術活動の業績目録 I」に準ずる業績について記入して下さい。

（氏名 _____ ）

題 目 等	発表年月	発行所・発表雑誌・発表の場等	備 考

第3号様式

教育校務活動業績書
(氏名)

主な担当授業とその内容

大学名	授業科目名	期 間	概 要

教育活動の成果

--

大学・学部等の役職

期 間	役職（委員会の委員を含む）

第4号様式

社 会 活 動 業 績 書
(氏名

)

学会活動及び社会活動

--

第5号様式

自薦書（採用後の本学における教育、研究活動について）

（氏名

）